

令和6年度

公益財団法人 鹿児島市国際交流財団  
決算に関する書類

公益財団法人 鹿児島市国際交流財団

# 目 次

## 令和6年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業報告書

I 概要	3
II 事業実施状況	3
III 組織運営状況	15
IV 附属明細書の作成について	18

## 令和6年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団決算報告書

I 貸借対照表	19
II 貸借対照表内訳表	20
III 正味財産増減計算書	21
IV 正味財産増減計算書内訳表	23
V 財務諸表に対する注記	25
VI 附属明細書	27
VII 財産目録	28
監査報告書	29

# 令和6年度 公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業報告書

## I 概要

本財団は、令和6年4月1日で設立10周年を迎え、その記念事業として拡充して開催した、歓迎交流会ハーティーパーティーや異文化体験講座インターナショナルカレッジには、多くの方々に参加していただきました。

また、コロナ禍後の外国人住民の増加などの状況も踏まえ、日本語支援など外国人住民の支援となるような多文化共生事業にも力を入れるとともに、活動の拠点となる国際交流センターを市民に親しまれる施設として適切に管理運営し、入館者数、貸出件数は令和2年の開館以来最多となりました。

このように、令和6年度も、定款に定める「国際交流の推進」、「国際理解の推進」、「国際協力の推進」、「多文化共生の地域づくりの推進」、「鹿児島市国際交流センターの管理運営に関する事業」に係る多様な企画・事業を展開し、賛助会員や多くのボランティアにも参加いただき、鹿児島市の国際交流の推進に積極的に取り組みました。

主な事業実施状況は、以下のとおりです。

## II 事業実施状況

### 1 国際交流の推進

#### (1) 市民と外国人住民との交流促進事業

##### ① 歓迎交流会【拡充】

新入外国人の歓迎や国際交流センターの居住留学生と市民との交流を図ることを目的に、財団設立10周年記念として規模を拡充し、センター全体を使用した交流会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
ハーティーパーティー	5月19日	新入外国人の歓迎交流会	379名(外国人132名)

##### ② 一日ツアー

市民と外国人住民が鹿児島への理解とお互いの交流を深めてもらうことを目的として、日帰り旅行を実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
国際交流バスツアー	3月23日	南さつま市における体験活動と国際交流会	67名(外国人28名)

##### ③ ホームビジット

外国人住民が日本人家庭を訪れ、日本の普段の生活文化を体験してもらうと同時に、受入家庭には外国出身者との交流を深めてもらうことを目的として、宿泊を伴わない

短時間のホームステイを実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
ホームビジット体験事前説明会	5月21日	ホームビジット受入れに関する事前知識や心構えについての説明会	10名
ホームビジット体験	5月26日	宿泊を伴わない短時間のホームステイ	72名 (外国人22名)

#### ④ 国際交流カフェ

外国人住民と市民との交流を図ることを目的として、国際交流センターのラウンジ等を使用した交流会を毎月実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
グローバルカフェ	毎月第2土曜日 全12回	センターラウンジ等を使用した交流会 共催：鹿児島県国際交流センター	延べ790名 (うち外国名参加者45名) 外国人協力者104名

#### (2) 市民と海外外国人等との交流促進事業

##### ① 第17回かごしまアジア青少年芸術祭（アジアン・鹿児島2024）

青少年の国際性を育み、市民の国際交流意識の高揚を図ることを目的として、アジア各国と鹿児島市の青少年が一堂に集い、音楽を中心とする芸術を通して交流を深める芸術の祭典は令和6年度で17回目を迎え、当財団は、実行委員会の事務局として市や関係団体と連携を図りました。

行事名	日時	場所	内容	備考
青少年音楽祭	10月19日	宝山ホール	アジア各国や市内の青少年の合奏、伝統音楽や舞踊等のパフォーマンス等	国内外9か国10団体239名 (鹿児島代表鴨池小学校を含む)
アジアンフェスタ	10月20日	中央公園、照国ホコ天会場	本市及びアジア出身の青少年によるダンス、歌等のアジアンステージ及びアジアン屋台、アジア×鹿児島コラボ飯、アジア体験ブース等	来場者数：2日間延べ約12,500名

#### ※関連イベント

・10月18日～22日 市内の小・中・高・大学を訪問しての学校交流（市内各学校8校）

#### ※ボランティア活動

・青少年ボランティア（ワーキングボランティア）65名による、芸術祭の企画・準備・当日の運営等（6月～11月の全10回、芸術祭当日）

- ・通訳ボランティア 26 名による海外団体の随行動、県内各所での通訳やその他のサポート（10 月 17 日～24 日）
- ・イベント当日ボランティア 16 名による芸術祭当日の運営やイベント補助

② 姉妹友好都市等からの来訪者受入れ対応

市が実施する姉妹友好都市等からの来訪者の受入れに当たり、通訳等を行いました。

行事名	開催日	内容
第 14 回アジア太平洋都市サミットへの協力	8 月 22 日・23 日	韓国語通訳等対応

(3) 国際交流人材の育成事業

① 運営ボランティアの活用

事業運営に協力してもらうボランティアを募集し、アジアン・鹿児島やハーティーパーティー、国際協力講演会等において、当日運営だけでなく事前の事業準備や企画の立案、広報等の協力をさせていただきました。

※運営ボランティア数 計 306 名

② 国際交流団体との連携・意見交換会

国際交流に関する取組状況や課題等についての情報交換を行うとともに、国際交流団体との連携を図ることを目的として、意見交換会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
外国人コミュニティミーティング	4 月 27 日	外国人コミュニティ代表者等との情報連携や協力体制についての協議等	8 団体 11 名 (外国人 9 名)

③ 登録団体交流会

国際交流センター登録団体の相互理解や連携を深めることを目的として、活動内容の紹介や意見交換のための交流会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
登録団体交流会 ※定期的に国際交流を行っている団体	7 月 21 日	国際交流センターの登録団体を対象にした交流会（活動内容発表・意見交換等）	16 団体 17 名

## 2 国際理解の推進

(1) 市民の国際理解促進事業

① 異文化体験講座【拡充】

鹿児島に居ながらにして外国の文化を実体験し、異文化を理解してもらうことを目

的に、外国人住民等を講師に招いての体験型講座を、財団設立10周年記念として講座数を増やして開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
インターナショナルカレッジ	6月30日	外国人講師等による体験型講座（計7コース13講座）	145名 (外国人2名)

## ② 国際理解企画イベント

国際理解をより深めてもらうことを目的として、市国際交流アドバイザー（CIR）等による企画イベントを開催しました。

行事名	開催日等	内容	参加者数
韓国語講座（初級）	6月～7月 全7回	韓国出身国際交流アドバイザーによる韓国語講座	8～11名
国際理解講座 “シアトルの言葉”	7月13日	米国出身国際交流アドバイザーによる講座	32名
留学キャラバン隊 in 鹿児島	7月20日	海外大学留学生による学生と保護者向けの進路選択ワークショップ等 共催：NPO 法人留学フェロシップ・鹿児島外語学院 SGG	23名
韓国料理教室	9月28日	韓国出身国際交流アドバイザーによる料理と文化講座	11名
韓国語講座（初中級）	11月～12月 全7回	韓国出身国際交流アドバイザーによる韓国語講座	14～19名
中国文化・語学講座 （入門～初級）	11月～1月 全8回	中国出身講師による中国文化と語学講座	15～22名 (外国人1名)
台湾文化体験講座 ～台湾茶を楽しむ会～	12月7日	台湾出身講師による、台湾茶の歴史やお茶の種類を紹介、淹れ方体験等	15名 (外国人1名)
インターナショナルナイト	12月21日	鹿児島大学留学生会による各国の舞踊や歌等の紹介や交流会 場所：鴨池公民館 共催：鹿児島大学留学生会	200名
英語文化講座 （中級）	1月～3月 全6回	米国出身国際交流アドバイザーによる英語文化講座	16～20名
日中オンライン交流会	1月31日	中国・大連とオンラインで繋ぎ、“春節(中国のお正月)”をテーマにした日本語・中国語での交流会	10名(外国人1名)
Asia×Kagoshima Friend-fish cooking	2月1日	魚類市場で取り扱う新鮮な魚介類を使った外国人向けの料理教室 共催：“いお・かごしま”魚食普及拡大推進協議会	外国人10名

世界のアフリカ系文化講座	2月2日、9日	アフリカ系文化を背景に持つ在住外国人を講師とした、様々な切り口からの文化紹介イベント	計53名 (全2回)
--------------	---------	--	---------------

③ 絵本の読み聞かせ教室

感受性豊かな幼少期から国際分野に興味を持ってもらうことを目的として、多言語による絵本の読み聞かせを実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
中国語えほん読み聞かせ会	3月20日	中国人講師による絵本の読み聞かせ	31名(外国人の子供7名)

④ 日本文化・郷土文化理解促進イベント

広く日本文化や実際に生活する鹿児島県の文化への理解を深めてもらうことを目的として、外国人向けの体験型イベントを開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
Taniyama Day Tour	5月11日	慈眼寺公園におけるそうめん流し体験とふるさと考古歴史館見学	外国人22名

⑤ 「ネクスト“アジア・鹿児島”イノベーション戦略」関連事業

アジアへの理解を深め、交流を進めることを目的として、留学生等が講師になり、アジアの国々や文化を紹介するなど、アジアに特化した事業を実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
ネパール留学生が教えるネパールの魅力	9月15日	ネパール人による、文化講座と交流会	26名 (外国人1名)

⑥ 和室活用事業

日本文化を理解してもらうことを目的として、和室を活用したイベントを開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
座禅体験	1月19日	僧侶による座禅の紹介と体験講座	外国人9名
茶道体験	2月15日	鹿児島外語学院の協力による茶道の紹介と体験講座	外国人10名

⑦ 調理室活用事業

食を通して外国及び日本に関する理解を深めてもらうことを目的として、調理室を活用したイベントを開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
世界の台所① トルコ	5月25日	トルコ出身講師による料理作りと文化等紹介	11名
世界の台所② 英語でオーストラリア	6月22日	オーストラリア出身講師による料理作りと文化等紹介	11名 (外国人1名)
世界の台所③ 中国・薬膳	7月27日	中国出身講師による料理作りと文化等紹介	12名
世界の台所④ カンボジア	8月24日	カンボジア出身講師による料理作りと文化等紹介	11名
世界の台所⑤ ドイツ	12月15日	ドイツ出身講師による料理作りと文化等紹介	12名
世界の台所⑥ 台湾の正月	1月19日	台湾出身講師による料理作りと文化等紹介	12名
世界の台所⑦ シリア	2月16日	シリア出身講師による料理作りと文化等紹介	12名
世界の台所⑧ 日本-和菓子-	3月9日	外国人を対象とした和菓子作りと文化等紹介	外国人10名

⑧ 国際理解や多文化共生等に関する講話

市民が多文化共生等への理解を深めることを目的として、各種機関の要望に応じて本財団職員等が講話を行いました。

行事名	開催日	内容	参加者数
甲東中学校での講話	1月31日	甲東中学校生に向けた、多文化共生と国際協力活動についての講和 共催：鹿児島県国際交流センター	92名

(2) 広報、情報発信の充実

① 多言語による情報の発信

外国人住民の鹿児島に対する興味・関心の促進を図ることを目的として、市国際交流アドバイザーの協力を得て、旬の情報（Kago Life）を、年4回多言語表記（英語・中国語・韓国語）で発信しました。

② ホームページ等での多言語情報の提供

本財団の事業や関係団体の情報、外国人向けの情報等をより効果的に発信することを目的として、やさしい日本語、多言語翻訳に対応したホームページやSNS記事等を作成しました。

③ 各種イベントへの協力・広報活動

本財団の事業や関係団体の情報等をより効果的に発信することを目的として、他団体が実施するイベント内での告知、展示物の出展を行いました。

イベント等	開催日	内容	参加者数
鹿児島大学新入留学生オリエンテーションにおけるセンター紹介等	4月4日、5日 9月27日	新入留学生に対する国際交流センターや事業等の紹介	延べ約100名
イスラム文化センターにおけるセンター紹介等	3月22日	イスラム文化センターにおける、外国人住民向けの国際交流センターや事業等の紹介	約30名

また、テレビ・ラジオ番組出演、市広報紙・新聞等への情報掲載等による広報活動を実施しました。

④ 広報誌（KIEX なび）の発行【財団独自事業】

広報誌を年4回（4・7・10・1月、各3,000部）発行し、当財団会員・関係団体・公共施設等に配付し、情報発信に努めました。

### 3 国際協力の推進

#### 国際協力活動事業

① 国際協力講演会及び青年海外協力隊員報告会

国際協力に対する理解・認識を深めてもらうことを目的として、有識者等を招き講演会を開催しました。

行事名	開催日等	内容	参加者数
国際協力講演会広報ワーキンググループ	12月～1月 全4回	大学生ボランティアによる講演会の広報等	4～7名
国際協力講演会&青年海外協力隊員報告会	3月16日	①国境なき医師団日本会長 中嶋優子氏による講演会 ②青年海外協力隊員活動報告会 共催：鹿児島県青年海外協力隊を支援する会・青年海外協力隊鹿児島県OB会	137名

② 国際協力体験イベント・パネル展示

国際協力や発展途上国等に対する理解を深めてもらうことを目的として、日本赤十字社と連携し、体験型講座やパネル展示を行いました。

行事名	開催日	内容	参加者数
夏休み自由研究応援！赤十字は、動いている！ ～あなたと想いを一つにして～	8月4日	小学生を対象にした国際協力に関する講座と交流会 共催：日本赤十字社鹿児島県支部	27名
日本赤十字パネル展	7月26日～8月23日	国際交流センター交流ラウンジにおける日本赤十字社によるパネル展示 共催：日本赤十字社鹿児島県支部	—

#### 4 多文化共生の地域づくりの推進

##### (1) 多文化共生地域づくり推進事業

###### ① 生活情報勉強会

外国人住民の鹿児島市での暮らしをサポートすることを目的として、日常生活に密着した各種情報を提供する勉強会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
防災・ゴミ・自転車交通ルール勉強会	4月6日	防災・ゴミ出し・自転車に関する交通ルールを学ぶための勉強会 場所：鹿児島大学国際交流会館	外国人 30名
日本のお正月の迎え方	12月21日	日本の正月文化紹介と、年末年始に気を付けるべき生活情報の提供	外国人 14名

###### ② 防災意識啓発活動

外国人住民が鹿児島市で安全に暮らす上で必要な防災意識の啓発を目的として、防災訓練へ参加しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
桜島住民避難訓練への参加	11月16日	住民避難訓練に外国人観光客役として参加 場所：桜島	外国人 12名
桜島火山爆発総合防災訓練への参加	1月11日	総合防災訓練の中で、避難所での外国人避難者を想定した多言語支援センターの運営訓練を実施 場所：谷山中学校	10名 (外国人6名)

###### ③ 子ども同士の異文化交流会

感受性豊かな幼少期に共生意識の醸成を図ることを目的として、子どもが楽しめる交流会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
みんなで遊ぼう日本の縁日	1月12日	日本の祭りに関する絵本読み聞かせや縁日ブースでの体験	53名 (外国人の子供5名)

#### ④ 地域との連携事業

多文化共生の地域づくりを推進し、地域の共生意識の醸成を図ることを目的として、地域住民の日本人や外国人と連携したイベントを開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
偉人祭への参加	8月24日	加治屋町の地域行事“偉人祭”や、子ども神輿への参加 協力：鹿児島県国際交流センター	外国人3名
おはら祭への参加	11月3日	山下校区コミュニティメンバーとして、おはら祭総踊りへ参加 協力：鹿児島県国際交流センター	13名 (外国人10名)
ミニ門松づくり	12月15日	留学生によるお正月文化紹介や地域住民とのミニ門松作りを通じた交流 共催：鹿児島県国際交流センター	30名(外国人4名)

#### ⑤ 多文化共生勉強会

多文化共生について地域での理解や取組を促進することを目的として、各種勉強会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
多文化共生勉強会① ～多文化共生って何？～	3月2日	多文化共生入門としての講話とワークショップ	26名
多文化共生勉強会② ～やさしいにほんご勉強会～	3月9日	やさしい日本語についての講話とワークショップ	25名

#### (2) 外国人住民支援事業

##### ① 外国人住民のための日本語支援

日本で生活していく上で必要なコミュニケーション能力を高めることを目的として、マンツーマン方式による日本語習得の支援を実施しました。

行事名	開催月	内容	参加者数
にほんごサポート“さくら”	前期5月～7月 後期10月～12月	マンツーマンによる生活のための日本語学習(各ペア8回ずつの支援)	外国人学習者と日本人支援者 合計各39名

② 日本語支援プロジェクトワーク

日本で生活していく上で必要なコミュニケーション能力を高めることを目的として、外国人と日本人のグループが課題となるテーマについて日本語で協議し、解決策を見出すグループワークを実施しました。

行事名	開催月等	内容	参加者数
日本語支援グループワーク ～日本語でプレゼン～	7月～9月 全9回	外国人住民と日本人ボランティアのグループによる日本語支援	12～19名 (外国人9名)
日本語でプレゼン発表会	9月8日	上記グループワーク参加外国人によるプレゼン発表会	46名 (外国人9名)

③ 日本語支援ボランティア養成

日本語習得を支援することを目的とした、日本語支援ボランティアを養成する講座等を開催しました。

行事名	開催月等	内容	参加者数
日本語支援ボランティア養成講座	2月～3月 全6回	日本語講師による日本語支援ボランティア養成講座	14～21名 (3/1 外国人協力者10名)
日本語支援さくら支援者ミーティング (全6回)	6/8、8/17 9/25、9/28 10/26、12/14	日本語支援ボランティア活動に関する話し合い	計52名
日本語支援ボランティア経験者ブラッシュアップ勉強会	2月～3月 全4回	日本語支援ボランティア経験者に対する勉強会	計24名

④ 外国人相談事業

外国人住民の日本での生活に関する悩みの軽減を目的として、外国人住民が抱える問題に関し、各専門団体と連携した相談事業を実施しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
鹿児島で働くためにすること！ ～聞いてみよう、履歴書・面接のこと！～	6月9日	仕事や職探しに関する講座と相談会 協力：(一社)九州・アジアグローバルサポート、ハローワーク	外国人2名
海外にルーツを持つ子どもと保護者のための ～宿題サポート～	8月18日	海外にルーツを持つ又は日本語支援が必要な児童・生徒への夏休み宿題サポート 協力：FROLIK	外国人4名
外国人住民のための相談事業～病院体験ツアー～	1月26日	病院のシステムの説明や体験ツアー、意見交換会等 協力：米盛病院	15名(外国人8名)

外国人住民のための一日無料相談会 ～行政書士による専門相談～	2月2日	行政書士による在留許可等に関する相談会 協力：鹿児島県行政書士会	外国人10名
-----------------------------------	------	-------------------------------------	--------

⑤ 鹿児島市外国人相談デスクの運営（鹿児島市からの受託事業）

外国人相談デスクにおいて、外国人等からの各種相談に多言語で対応しました。（相談件数：114件）

⑥ 災害時等外国人支援事業

災害時等における外国人住民の避難行動等を支援することを目的とした研修会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
市避難所班長・班員説明会	6月5日、6日	災害時の避難所運営における外国人対応について説明	約700名
災害時多言語支援センター研修	7月26日	災害時多言語支援センターの役割や設置後の流れ等について研修会	12名

⑦ 災害時通訳ボランティアの登録・育成事業

災害時における多言語での情報発信や、外国人住民の支援を行う通訳ボランティアを登録・育成することを目的とした研修会や登録会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
災害時の外国人支援に必要なもの ～能登半島地震の経験者から学ぶ～	7月27日	災害時における外国人住民の避難行動等を支援することを目的とした通訳ボランティアの研修会と登録説明会	18名

⑧ 多言語交流会

外国人住民同士の連携を深め、協力体制の構築を図ることを目的として、共通の母語で意見交換できる交流会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
外国人コミュニティミーティング（再掲）	4月27日	外国人コミュニティ代表者等との情報連携や協力体制についての協議等	8団体11名 （外国人9名）

⑨ テーマ別交流会

共通の悩みを持つ外国人住民同士が問題解決のきっかけづくりや交流を図ることを目的として、交流会を開催しました。

行事名	開催日	内容	参加者数
海外にルーツを持つ子どもと保護者のための～パパ・ママ交流会～	8月18日	海外にルーツを持つ子どもを持つ保護者同士のおしゃべり交流会	外国人4名

## 5 国際交流センターの管理運営に関する事業

利用者が安全かつ快適に利用できるよう、指定管理者制度に基づき、国際交流センターの維持管理及び運営を適切に行いました。

また、市民の平等利用及び市民サービスの向上に努め、研修室等の貸出しを行うとともに、センターを活用して財団の定款に定める事業を実施することにより、市民による国際交流事業等の促進を図りました。

### 令和6年度利用実績（人、件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入館者数	5,922	6,798	5,512	8,092	8,138	7,293	7,826	8,675	6,245	6,504	6,139	6,596	83,740
施設貸出件数	181	185	183	210	173	188	197	209	165	157	174	191	2,213
登録団体利用	21	18	21	20	23	27	25	22	17	16	22	33	265

※登録団体 33団体（令和7年3月31日現在）

< 部屋別内訳 >

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
多目的ホール	33	30	23	43	32	27	36	35	27	22	28	31	367
研修室1	47	43	44	41	46	40	44	48	44	39	41	41	518
研修室2	44	44	53	55	39	51	52	51	39	39	44	56	567
調理室	13	19	15	19	16	17	16	16	12	13	14	18	188
和室	40	42	44	44	39	46	45	55	39	43	44	40	521
屋上テラス	4	7	4	8	1	7	4	4	4	1	3	5	52

### 年度別利用実績（人、件）

	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	累計
入館者数	38,227	59,385	76,733	80,364	83,740	338,449
施設貸出件数	747	1,534	1,904	2,172	2,213	8,570
登録団体利用	153	187	219	260	265	1,084

## 6 利用者サービス事業【収益事業】

館内に飲料自動販売機を設置するなど、利用者の利便性の向上を図るための取組を行いました。

### Ⅲ 組織運営状況

#### 1 理事会・評議員会開催

令和6年度に開催した会議の議決事項等は、次のとおりです。

##### (1) 理事会

区分	開催日	議決事項及び報告事項等
第1回	令和6年5月31日 (出席者 10名中8名)	[報告事項] 理事長及び常務理事の職務の執行状況報告 [議決事項] 第1号 令和5年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業報告の件 第2号 令和5年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団決算の件 第3号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団令和6年度第1回評議員会(定時)の招集の件
第2回	令和6年6月18日 (決議の省略)	第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団理事長選任の件 第2号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団常務理事選任の件
第3回	令和7年3月18日 (出席者 11名中11名)	[報告事項] 理事長及び常務理事の職務の執行状況報告 [議決事項] 第1号 令和7年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業計画の件 第2号 令和7年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支予算の件 第3号 令和7年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の件 第4号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団職員就業規則一部改正の件 第5号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団職員給与規程一部改正の件 第6号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団令和6年度第2回評議員会招集の件

## (2) 評議員会

区分	開催日	議決事項及び報告事項等
第1回	令和6年6月18日 (出席者 12名中8名)	<p>[報告事項] 理事長及び常務理事選任の件</p> <p>[議決事項] 第1号 令和5年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業報告の件 第2号 令和5年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団決算の件 第3号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団評議員の選任の件 第4号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団理事の選任の件</p>
第2回	令和7年3月26日 (決議の省略)	<p>[報告事項] ① 令和7年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団事業計画の件 ② 令和7年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団収支予算の件 ③ 令和7年度公益財団法人鹿児島市国際交流財団資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類の件</p> <p>[議決事項] 第1号 公益財団法人鹿児島市国際交流財団役員及び評議員の報酬等及び費用に関する規程一部改正の件</p>

## 2 賛助会員(各年度3月31日現在)

(人、団体)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
個人会員数	748	533	500	493	467
団体会員数	48	48	41	41	41

### 3 役員・評議員（令和7年3月31日現在）

#### (1) 役員（定款第29条に基づく理事・監事）

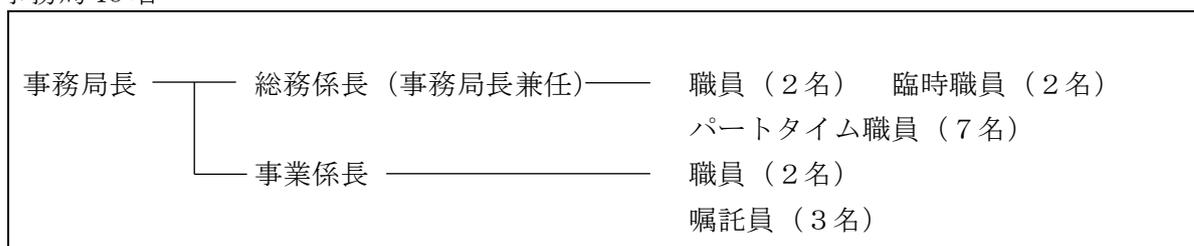
役職名	氏名	備考
理事長 (常務理事)	小倉 洋一	公益財団法人鹿児島市国際交流財団（業務執行理事）
理事	手嶋 道男	鹿児島外語学院 SGG 代表
〃	八十島 誠治	鹿児島県マレーシア友好協会専務理事
〃	南 徹	鹿児島 iBS 国際懇話会会長
〃	弓場 秋信	鹿児島県青年海外協力隊を支援する会事務局長
〃	澤田 佳代	鹿児島大学学生部長
〃	太田 秀春	鹿児島国際大学副学長
〃	田代 博文	(株)南日本新聞社営業局長
〃	谷口 澄江	九州日本語学校 事務長
〃	松村 崇司	(公社)鹿児島青年会議所理事長
〃	大山 かおり	鹿児島市総務局市長室長
監事	上山 寛	上山寛税理士事務所
〃	小林 拓史	鹿児島市会計管理者

#### (2) 評議員（定款第14条に基づく評議員）

役職名	氏名	備考
評議員	今村 進一	鹿児島ライオンズクラブ代表
〃	志賀 玲子	志学館大学学長補佐
〃	永田 福一	鹿児島県中小企業団体中央会専務理事
〃	久永 修平	鹿児島県経営者協会常任理事
〃	礼満ハフリーズ	鹿児島大学理学部准教授
〃	鎌田 敬	鹿児島市日中友好協会会長
〃	西野 友季子	天文館ホテル協議会会長
〃	末永 次行	鹿児島県経済農業協同組合連合会代表理事専務
〃	丸山 健太郎	株式会社南日本放送専務取締役
〃	美園 俊明	鹿児島ロータリークラブ会長
〃	宮浦 和英	鹿児島商工会議所事務局長
〃	遠藤 章	鹿児島市総務局長

### 4 事務局体制（令和7年3月31日現在）

事務局 18名



#### IV 附属明細書の作成について

上記の事業報告書について、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は存在しないため、令和 6 年度事業報告の附属明細書は作成しておりません。

I 貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	15,199,539	18,594,969	△ 3,395,430
未収金	654,024	624,239	29,785
貯蔵品	48,558	67,932	△ 19,374
流動資産合計	15,902,121	19,287,140	△ 3,385,019
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(2) 特定資産			
積立預金	8,806,080	6,874,560	1,931,520
特定資産合計	8,806,080	6,874,560	1,931,520
(3) その他固定資産			
車両運搬具	2	2	0
什器備品	266,842	0	266,842
預託金	9,100	9,100	0
その他固定資産合計	275,944	9,102	266,842
固定資産合計	12,082,024	9,883,662	2,198,362
資産合計	27,984,145	29,170,802	△ 1,186,657
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,782,774	10,832,417	△ 4,049,643
前受会費	0	6,000	△ 6,000
預り金	550,852	498,118	52,734
流動負債合計	7,333,626	11,336,535	△ 4,002,909
2. 固定負債			
退職給付引当金	8,806,080	6,874,560	1,931,520
固定負債合計	8,806,080	6,874,560	1,931,520
負債合計	16,139,706	18,211,095	△ 2,071,389
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	3,000,000	0
2. 一般正味財産			
正味財産合計	8,844,439	7,959,707	884,732
負債及び正味財産合計	11,844,439	10,959,707	884,732
負債及び正味財産合計	27,984,145	29,170,802	△ 1,186,657

II 貸借対照表内訳表  
令和7年3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
<b>I 資産の部</b>					
1. 流動資産					
現金預金	6,739,253	255,844	8,204,442	0	15,199,539
未収金	636,467	17,557	0	0	654,024
貯蔵品	23,088	0	25,470	0	48,558
流動資産合計	7,398,808	273,401	8,229,912	0	15,902,121
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
定期預金	3,000,000	0	0	0	3,000,000
基本財産合計	3,000,000	0	0	0	3,000,000
(2) 特定資産					
積立預金	8,806,080	0	0	0	8,806,080
特定資産合計	8,806,080	0	0	0	8,806,080
(3) その他固定資産					
車両運搬具	1	0	1	0	2
什器備品	266,842	0	0	0	266,842
預託金	8,190	0	910	0	9,100
その他固定資産合計	275,033	0	911	0	275,944
固定資産合計	12,081,113	0	911	0	12,082,024
資産合計	19,479,921	273,401	8,230,823	0	27,984,145
<b>II 負債の部</b>					
1. 流動負債					
未払金	5,102,380	17,053	1,663,341	0	6,782,774
預り金	468,318	0	82,534	0	550,852
流動負債合計	5,570,698	17,053	1,745,875	0	7,333,626
2. 固定負債					
退職給付引当金	8,767,932	0	38,148	0	8,806,080
固定負債合計	8,767,932	0	38,148	0	8,806,080
負債合計	14,338,630	17,053	1,784,023	0	16,139,706
<b>III 正味財産の部</b>					
1. 指定正味財産					
寄付金	3,000,000	0	0	0	3,000,000
指定正味財産合計	3,000,000	0	0	0	3,000,000
(うち基本財産への充当額)	3,000,000	0	0	0	3,000,000
2. 一般正味財産	2,141,291	256,348	6,446,800	0	8,844,439
正味財産合計	5,141,291	256,348	6,446,800	0	11,844,439
負債及び正味財産合計	19,479,921	273,401	8,230,823	0	27,984,145

Ⅲ 正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	60	60	0
基本財産受取利息	60	60	0
特定資産運用益	3,358	46	3,312
特定資産受取利息	3,358	46	3,312
受取会費	866,000	938,000	△ 72,000
賛助会員受取会費	866,000	938,000	△ 72,000
事業収益	546,480	485,050	61,430
事業収益	364,000	328,600	35,400
収益事業収益	182,480	156,450	26,030
受託事業収益	87,148,081	82,515,946	4,632,135
受託事業収益	4,351,081	4,027,821	323,260
指定管理受託事業収益	82,797,000	78,488,125	4,308,875
受取負担金	2,554,750	2,323,750	231,000
受取負担金	2,554,750	2,323,750	231,000
雑収益	33,325	17,297	16,028
受取利息	13,735	266	13,469
雑収益	19,590	17,031	2,559
経常収益計	91,152,054	86,280,149	4,871,905
(2) 経常費用			
事業費	76,296,730	75,986,545	310,185
役員報酬	1,668,618	1,550,474	118,144
給料手当	38,373,579	38,872,660	△ 499,081
退職給付費用	2,539,200	2,092,080	447,120
福利厚生費	6,088,895	5,889,918	198,977
旅費交通費	107,484	77,504	29,980
通信運搬費	371,813	480,629	△ 108,816
減価償却費	9,918	257,399	△ 247,481
消耗品費	799,836	1,440,487	△ 640,651
修繕費	5,810	25,492	△ 19,682
印刷製本費	601,396	579,650	21,746
燃料費	27,084	33,604	△ 6,520
光熱水料費	2,836,007	2,461,542	374,465
使用料・賃借料	395,952	303,142	92,810
保険料	248,479	244,936	3,543
租税公課	4,837,300	4,502,720	334,580
手数料	124,629	136,433	△ 11,804
報償費	1,824,236	2,630,518	△ 806,282
負担金・補助金	2,988,796	2,696,834	291,962
委託費	12,447,698	11,710,523	737,175

科 目	当年度	前年度	増 減
管理費	13,970,592	13,440,313	530,279
役員報酬	2,752,926	2,595,712	157,214
給料手当	3,904,966	3,505,318	399,648
福利厚生費	947,671	958,552	△ 10,881
会議費	7,768	10,163	△ 2,395
旅費交通費	96,456	90,298	6,158
通信運搬費	407,369	462,792	△ 55,423
減価償却費	0	28,599	△ 28,599
消耗什器備品費	9,800	0	9,800
消耗品費	508,587	478,196	30,391
修繕費	390,561	444,713	△ 54,152
印刷製本費	333,945	630,343	△ 296,398
燃料費	3,008	3,732	△ 724
光熱水料費	312,937	271,614	41,323
使用料・賃借料	1,339,935	1,254,926	85,009
保険料	8,555	10,382	△ 1,827
租税公課	897,400	793,280	104,120
手数料	492,954	480,680	12,274
負担金・補助金	376,422	319,320	57,102
委託費	1,179,332	1,101,693	77,639
經常費用計	90,267,322	89,426,858	840,464
評価損益等調整前当期經常増減額	884,732	△ 3,146,709	4,031,441
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	884,732	△ 3,146,709	4,031,441
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
經常外収益計	0	0	0
(2) 經常外費用			
經常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	884,732	△ 3,146,709	4,031,441
一般正味財産期首残高	7,959,707	11,106,416	△ 3,146,709
一般正味財産期末残高	8,844,439	7,959,707	884,732
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0
III 正味財産期末残高	11,844,439	10,959,707	884,732

IV 正味財産増減計算書内訳表  
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	60	0	0	0	60
基本財産受取利息	60	0	0	0	60
特定資産運用益	3,358	0	0	0	3,358
特定資産受取利息	3,358	0	0	0	3,358
受取会費	866,000	0	0	0	866,000
賛助会員受取会費	866,000	0	0	0	866,000
事業収益	364,000	182,480	0	0	546,480
事業収益	364,000	0	0	0	364,000
収益事業収益	0	182,480	0	0	182,480
受託事業収益	72,615,404	0	14,532,677	0	87,148,081
受託事業収益	4,309,704	0	41,377	0	4,351,081
指定管理受託事業収益	68,305,700	0	14,491,300	0	82,797,000
受取負担金	2,554,750	0	0	0	2,554,750
受取負担金	2,554,750	0	0	0	2,554,750
雑収益	13,735	19,590	0	0	33,325
受取利息	13,735	0	0	0	13,735
雑収益	0	19,590	0	0	19,590
経常収益計	76,417,307	202,070	14,532,677	0	91,152,054
(2) 経常費用					
事業費	76,228,284	68,446	0	0	76,296,730
役員報酬	1,668,618	0	0	0	1,668,618
給料手当	38,373,579	0	0	0	38,373,579
退職給付費用	2,539,200	0	0	0	2,539,200
福利厚生費	6,088,895	0	0	0	6,088,895
旅費交通費	107,484	0	0	0	107,484
通信運搬費	371,813	0	0	0	371,813
減価償却費	9,918	0	0	0	9,918
消耗品費	799,836	0	0	0	799,836
修繕費	5,810	0	0	0	5,810
印刷製本費	601,396	0	0	0	601,396
燃料費	27,084	0	0	0	27,084
光熱水料費	2,816,417	19,590	0	0	2,836,007
使用料・賃借料	383,376	12,576	0	0	395,952
保険料	248,479	0	0	0	248,479
租税公課	4,806,300	31,000	0	0	4,837,300
手数料	119,349	5,280	0	0	124,629
報償費	1,824,236	0	0	0	1,824,236
負担金・補助金	2,988,796	0	0	0	2,988,796
委託費	12,447,698	0	0	0	12,447,698

科 目	公益目的事業会計	収益事業会計	法人会計	内部取引消去	合 計
管理費	0	0	13,970,592	0	13,970,592
役員報酬	0	0	2,752,926	0	2,752,926
給料手当	0	0	3,904,966	0	3,904,966
福利厚生費	0	0	947,671	0	947,671
会議費	0	0	7,768	0	7,768
旅費交通費	0	0	96,456	0	96,456
通信運搬費	0	0	407,369	0	407,369
消耗什器備品費	0	0	9,800	0	9,800
消耗品費	0	0	508,587	0	508,587
修繕費	0	0	390,561	0	390,561
印刷製本費	0	0	333,945	0	333,945
燃料費	0	0	3,008	0	3,008
光熱水料費	0	0	312,937	0	312,937
使用料・賃借料	0	0	1,339,935	0	1,339,935
保険料	0	0	8,555	0	8,555
租税公課	0	0	897,400	0	897,400
手数料	0	0	492,954	0	492,954
負担金・補助金	0	0	376,422	0	376,422
委託費	0	0	1,179,332	0	1,179,332
経常費用計	76,228,284	68,446	13,970,592	0	90,267,322
評価損益等調整前当期経常増減額	189,023	133,624	562,085	0	884,732
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	189,023	133,624	562,085	0	884,732
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替額	60,546	△ 60,546	0	0	0
当期一般正味財産増減額	249,569	73,078	562,085	0	884,732
一般正味財産期首残高	1,891,722	183,270	5,884,715	0	7,959,707
一般正味財産期末残高	2,141,291	256,348	6,446,800	0	8,844,439
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	0	0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	0	0	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	5,141,291	256,348	6,446,800	0	11,844,439

## V 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却方法は、定額法で行っている。

#### (2) 退職給付引当金の計上基準

職員の退職給付に備えて、退職金手当支給規程による要支給額に基づき計上している。

#### (3) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

#### (4) 貯蔵品の評価方法

貯蔵品の評価方法は、最終仕入原価法で行っている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	3,000,000 円	0 円	0 円	3,000,000 円
小計	3,000,000 円	0 円	0 円	3,000,000 円
特定資産				
退職給付引当資産	6,874,560 円	2,539,200 円	607,680 円	8,806,080 円
小計	6,874,560 円	2,539,200 円	607,680 円	8,806,080 円
合計	9,874,560 円	2,539,200 円	607,680 円	11,806,080 円

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	3,000,000 円	3,000,000 円	0 円	0 円
小計	3,000,000 円	3,000,000 円	0 円	0 円
特定資産				
退職給付 引当資産	8,806,080 円	0 円	0 円	8,806,080 円
小計	8,806,080 円	0 円	0 円	8,806,080 円
合計	11,806,080 円	3,000,000 円	0 円	8,806,080 円

4. 固定資産の取得価格、減価償却累計額及び期末残高

固定資産の取得価格、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

科目	取得金額	当年度減価償却額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	1,144,000 円	0 円	1,143,998 円	2 円
什器備品	276,760 円	9,918 円	9,918 円	266,842 円
合計	1,420,760 円	9,918 円	1,153,916 円	266,844 円

## VI 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記2に記載している。

### 2. 引当金の明細

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	6,874,560 円	2,539,200 円	607,680 円	0	8,806,080 円

Ⅶ 財産目録  
令和7年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金 預金	手元保管	小口現金	25,869	
		当座預金	会費納入	150,944	
		ゆうちょ・166520	普通預金	8,411,572	
		鹿銀上町・3010312	鹿銀上町・3030354	会費納入	1,603,524
		南銀本店・1534554	定期預金	鹿銀上町・4008328	基本財産受取利息
	未収金		県指定管理者受取負担金等	654,024	
貯蔵品		切手、ハガキ、ラピカ、印紙代	48,558		
流動資産合計				15,902,121	
(固定資産)	基本財産	定期預金	公益目的保有財産	3,000,000	
		定期預金(指定)	鹿銀上町・4008328		
	特定資産	積立預金	普通預金	退職給付引当金	8,806,080
		積立預金(一般)	鹿銀上町・3013719		
	その他固定資産	車両運搬具	自家用軽自動車1台	90%は公益目的保有財産、10%は法人管理活動の用に供する財産であり、共有財産	2
		什器備品	キャビネット1式	公益目的事業活動の用に供する財産であり、共有財産	136,679
ポータブル電源1台			公益目的事業活動の用に供する財産であり、共有財産	130,163	
預託金	車両リサイクル預託金1台分	上記車両運搬具処分時まで保有するもの。90%は公益目的保有財産、10%は法人管理活動の用に供する財産であり、共有財産	9,100		
固定資産合計				12,082,024	
資産合計				27,984,145	
(流動負債)	未払金		公益目的事業及び管理業務に供する業者未払い分、鹿児島市への委託料返金分	6,782,774	
			公益目的事業及び管理業務に供する職員等の健康保険料	183,806	
	預り金	健康保険料	公益目的事業及び管理業務に供する職員等の健康保険料	304,415	
		厚生年金保険料	公益目的事業及び管理業務に供する職員等の厚生年金保険料	62,631	
雇用保険料	公益目的事業及び管理業務に供する職員等の雇用保険料				
流動負債合計				7,333,626	
(固定負債)	退職給付引当金			8,806,080	
固定負債合計				8,806,080	
負債合計				16,139,706	
正味財産				11,844,439	

# 監査報告書

令和7年5月22日

公益財団法人鹿児島市国際交流財団  
理事長 小倉 洋 一 殿

公益財団法人鹿児島市国際交流財団

監事 上山 寛 

監事 柳田 ひろみ 

私たちは、公益財団法人鹿児島市国際交流財団の令和6年4月1日から令和7年3月31日までの事業年度における会計及び職務執行等に関して当財団事務所において監査を行い、以下のとおり監査の結果を報告する。

## 1. 監査の方法及び概要

- (1) 帳簿並びに関係書類の閲覧など必要な監査手続を実施し、計算書類の正確性を検討した。
- (2) 理事会及びその他の会議に出席し、理事から職務の執行状況を聴取し、関係書類の閲覧など必要な監査手続を実施し、業務執行の妥当性を検討した。

## 2. 監査の結果

- (1) 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、当財団の収支状況及び財産の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 事業報告書は、財団の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められない。

以上